

平成 29 年 6 月 5 日

関係機関 各位

市立三次中央病院  
緩和ケアセンター

緩和ケア研修会(ご案内)

平素は、当院の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。  
当院では緩和ケアセンター主催の研修会を年間シリーズで開催しております。  
今回は、毎年当院で行っている、がん治療医向け緩和ケア研修会の一部を、一般公開しました。また青森からファシリテーターとして来られる講師の講演も企画しましたので、ご案内申し上げます。

平成 29 年度 第 4 回 緩和ケアセンター主催 年間シリーズ研修会 (通算 15 回)

演題：がん患者疼痛スクリーニングの実際

— 痛みサインを見逃さない多職種アプローチという『緩和力』 —

日時：平成 29 年 7 月 7 日(金) 18:30~19:50

場所：市立三次中央病院 健診センター大講堂

講師：青森県立中央病院緩和ケアセンター サブマネージャー

緩和ケア認定看護師 山下 慈 先生

平成 29 年度 第 5 回 緩和ケアセンター主催 年間シリーズ研修会 (通算 16 回)

演題：がん性疼痛の評価と治療

— どんな痛みにも対応できるようになるためには? —

日時：平成 29 年 7 月 8 日(土) 13:00~14:30

場所：市立三次中央病院 健診センター大講堂

講師：埼玉県立がんセンター 緩和ケア科部長

余宮 きのみ 先生

大変お忙しいとは思いますが、多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

申込締切、申込方法は別紙参加申込書をご覧の上、記入していただき、下記まで FAX、または郵送にてお申し込みください。

— 問合せ・申込先 —

〒 728-8502 三次市東酒屋町 531 番地

市立三次中央病院 緩和ケアセンター

担当：新谷 ひとみ

TEL：(0824)65-0101

FAX：(0824)65-0159



市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催  
年間シリーズ研修会④《通算第15回》

●日時：平成29年7月7日（金）  
18:30～19:50

●会場：市立三次中央病院  
健診センター2階 講堂

●演題：

## がん患者疼痛スクリーニングの実際

—痛みのサインを見逃さない多職種アプローチという『緩和力』—

●演者：山下 慈 先生

青森県立中央病院緩和ケアセンター  
サブマネージャー 緩和ケア認定看護師

### <演者からのメッセージ>

青森県立中央病院では、がん患者さんの痛みやつらさをスクリーニングし、その結果をもとに緩和ケアチームを始めとした院内の多職種が真摯に対応することを大事にしています。手術、化学療法、放射線療法、終末期、いずれの療養過程であっても、必ず患者さんの苦痛を掬いあげる体制を整えなければ、痛みやつらさからの解放は成し得ません。聞く・書く・入力だけで終わるスクリーニングから、それを患者さん・ご家族のケア向上に活かすスクリーニング手法へ変えてみませんか。患者さんが私たちに教えてくれるサインには、必ず苦痛を緩和するヒントが隠されているのです。ぜひこの機会に、多職種でアプローチすることによる『緩和力』を考えてみましょう。皆様にお会いできることを楽しみにしております。

### <講師略歴>

山下慈(やました いくく)：

秋田県出身。1998年日本赤十字秋田短期大学卒。1999年青森県立青森高等看護学院卒(保健師・養護教諭取得)。2000年青森県立中央病院入職。2007年東北福祉大学福祉心理学科卒業(認定心理士取得)。2009年広島大学大学院先駆的看護実践支援センター卒。2010年緩和ケア認定看護師資格取得。同年、青森県立保健大学大学院博士前期課程看護学研究科卒。2011年厚労科研がん臨床研究事業「がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究(的場班)」の研究協力者。2014年-2016年厚労科研がん政策研究事業「緩和ケアセンターを軸としたがん疼痛の評価と治療改善の統合に関する研究(的場班)」の班員として「がん疼痛等の苦痛患者抽出のための緩和ケアチーム看護師等によるスクリーニングと介入プログラムの開発」を担当。2017年岩手県立大学大学院看護学研究科成人看護学がん看護学専門看護師コース卒。



## 緩和ケアセンター主催研修会申込用紙

日時：平成29年7月7日(金)18:30～19:50

会場：市立三次中央病院 健診センター 2階 講堂

演題：がん患者疼痛スクリーニングの実際

—痛みのサインを見逃さない多職種アプローチという『緩和力』—

講師：青森県立中央病院緩和ケアセンターサブマネージャー

緩和ケア認定看護師

山下 慈 先生

施設名			
連絡先	TEL :	担当者 :	
申込者 :			
氏名		氏名	
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

FAX または郵送でお申し込みください

〒 728-8502

三次市東酒屋町 531 番地

FAX : (0824) 65-0159

締切は7月6日(木)です。

(緩和ケアセンター 新谷)



市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催  
年間シリーズ研修会⑤《通算第16回》

- 日時：平成29年7月8日（土）  
13:00～14:30（90分）
- 会場：市立三次中央病院  
健診センター2階 大講堂
- 演題：＜特別招請講義＞

## がん性疼痛の評価と治療

—どんな痛みにも対応できるようになるためには？—

- 演者：余宮 きのみ 先生  
埼玉県立がんセンター緩和ケア科部長

わが国における緩和ケア臨床の第一人者を、今年も当院主催のがん治療医向け緩和ケア研修会にお招きしましたので、その貴重なご講義の一部を備北地区の医療・看護・介護・福祉関係者等を対象として開放いたします。

がん患者の疼痛評価と鎮痛技法に関して、初歩から高度な応用まで幅広く学ぶことのできる絶好の機会です。奮ってご参加ください。

### ＜講師略歴＞

余宮 きのみ(よみや きのみ)：1991年日本医科大学卒。大学4年の時に聴いたホスピス医の講演に感動、緩和ケア医を志す。内科、整形外科、神経内科、リハビリテーション科、在宅ホスピスで研鑽を積み、2000年から埼玉県立がんセンター緩和ケア科に所属、緩和ケア病棟・緩和ケア外来・緩和ケアチームで八面六臂の実践を展開、2009年より現職。日本緩和医療学会がん疼痛薬物療法ガイドライン改訂委員会副委員長、日本緩和医療学会評議員・ガイドライン作成委員、日本膵臓学会膵癌診療ガイドライン改訂委員会委員、日本癌治療学会診療ガイドライン委員会協力委員、星薬科大学非常勤講師。著作多数。



## 緩和ケアセンター主催研修会申込用紙

日時：平成 29 年 7 月 8 日(土)13：00～14：30

会場：市立三次中央病院 健診センター 2階 講堂

演題：がん性疼痛の評価と治療

—どんな痛みにも対応できるようになるためには—

講師：埼玉県立がんセンター 緩和ケア科部長

余宮 きのみ 先生

施設名			
連絡先	TEL :	担当者 :	
申込者 :			
氏名		氏名	
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

FAX または郵送でお申し込みください

〒 728-8502

三次市東酒屋町 531 番地

FAX : (0824) 65-0159

締切は 7 月 7 日(金)です。

(緩和ケアセンター 新谷)